

# デーヴォ ガイド



2024.5.27-6.2

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディポジションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

21:17 そのとき、ティシュベ人エリヤに次のような【主】のことばがあった。

21:18 「さあ、サマリアにいるイスラエルの王アハブに会いに下って行け。今、彼はナボテのぶどう畑を取り上げようと、そこに下って来ている。

21:19 彼にこう言え。『【主】はこう言われる。あなたは人殺しをしたうえに、奪い取ったのか。』また、彼に言え。『【主】はこう言われる。犬たちがナボテの血をなめた、その場所で、その犬たちがあなたの血をなめる。』」

21:20 アハブがエリヤに「おまえは私を見つけたのか、わが敵よ」と言うと、エリヤは答えた。「そうだ。あなたが【主】の目に悪であることを行うことに身を任せたので、見つけたのだ。

21:21 『今わたしは、あなたにわざわいをもたらす。わたしはあなたの子孫を除き去り、イスラエルの中の、アハブに属する小童から奴隷や自由の者に至るまで絶ち滅ぼし、

21:22 あなたの家をネバテの子ヤロバムの家のようにし、アヒヤの子バアシャの家のようにする。それは、あなたが引き起こしたわたしの怒りのゆえであり、あなたがイスラエルに罪を犯させたためだ。』

21:23 また、イゼベルについても【主】はこう言われる。『犬がイズレエルの領地でイゼベルを食らう。』

21:24 アハブに属する者で、町で死ぬ者は犬がこれを食らい、野で死ぬ者は空の鳥がこれを食らう。』」

21:25 アハブのように、自らを裏切って

【主】の目に悪であることを行った者は、だれもいなかった。彼の妻イゼベルが彼をそそのかしたのである。

21:26 彼は、【主】がイスラエル人の前から追い払われたアモリ人がしたのと全く同じように、偶像につき従い、非常に忌まわしいことを行った。

21:27 アハブはこれらのことばを聞くとすぐ、自分の外套を裂き、身に粗布をまとして断食をした。彼は粗布をまとして伏し、打ちひしがれて歩いた。

21:28 そのとき、ティシュベ人エリヤに次のような【主】のことばがあった。

21:29 「あなたは、アハブがわたしの前にへりくだっているのを見たか。彼がわたしの前にへりくだっているの、彼の生きている間はわざわいを下さない。しかし、彼の子の時代に、彼の家にわざわいを下す。」

アハブのような悪王でも、このように主に少しでも従うならば、主はあわれみを表してください。主が生きておられ、主に従うということの大切さを教えようとなさるからです。

また逆に主に従わないならば、生ける主はその問題性を明かにするために、その者に懲らしめを与えます。または恵を差し引かれます。主に従って欲しいからです。従って絶大な恵を手にして欲しいからです。

ですから、主に従わない者や従わない行為に対して、従う者と同じ恵を与えてくださいと祈るのは、的が外れています。本当の愛は、彼が従えるように祈ることです。そして主からのあわれみとものと大きな恵を受けることができるように…と祈ることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 28日 火曜

### 列王 I

22:1 アラムとイスラエルの間に戦いがなく、三年が過ぎた。

22:2 しかし、三年目になって、ユダの王ヨシャファテがイスラエルの王のところに来て、

22:3 イスラエルの王は自分の家来たちに言った。「おまえたちは、ラモテ・ギルアデがわれわれのものであることをよく知っているのではないか。それなのに、われわれはためらっていて、それをアラムの王の手から奪い返していない。」

22:4 そして、彼はヨシャファテに言った。「私とともにラモテ・ギルアデに戦いに行ってくださいませんか。」ヨシャファテはイスラエルの王に言った。「私とあなたは一つ、私の民とあなたの民は一つ、私の馬とあなたの馬は一つです。」

22:5 ヨシャファテはイスラエルの王に言った。「まず、【主】の言葉を伺ってください。」

22:6 イスラエルの王は約四百人の預言者を集めて、彼らに尋ねた。「私はラモテ・ギルアデに戦いに行くべきか。それとも、やめるべきか。」彼らは答えた。「あなたは攻め上ってください。主は王様の手にもこれを渡されません。」

22:7 ヨシャファテは、「ここには、われわれがみこころを求めることのできる【主】の預言者が、ほかにいないのですか」と言った。

22:8 イスラエルの王はヨシャファテに答えた。「ほかにもう一人、【主】に伺うことのできる者がいます。しかし、私は彼を憎んでいます。彼は私について良いことは預言せず、悪



いことばかりを預言するからです。イムラの子ミカヤです。」ヨシャファテは言った。「王よ、そういうふうには言わないでください。」

22:9 イスラエルの王は一人の宦官を呼び、「急いでイムラの子ミカヤを連れて来い」と命じた。

22:10 イスラエルの王とユダの王ヨシャファテは、それぞれ王服をまとい、サマリアの門の入り口にある打ち場の王の座に着いていた。預言者はみな、彼らの前で預言していた。

22:11 ケナアナの子ゼデキヤは、王のために鉄の角を作って言った。「【主】はこう言われます。『これらの角で、あなたはアラムを突いて、絶ち滅ぼさなければなりません。』」

22:12 預言者たちはみな、同じように預言した。「あなたはラモテ・ギルアデに攻め上って勝利を得てください。【主】は王の手にもこれを渡されます。」

ヨシャファテは律法を回復させるなど、信仰的な面もありましたが、一方反逆のイスラエル王であるアハブとの姻戚関係により、不信仰へと引きずられてしまいました。不信者との交わり自体は悪ではありませんが、主を第一にしていないと後悔することになります。

アハブは自分の気に入る預言ばかりさせ、主の言葉を無視し、領土拡大という欲に目がくらみ攻め上ろうとします。これに対してヨシャパテは一度は「みこころを求めることのできる主の預言者」を求めますが、結局その信仰も最後はあいまいになって、アハブの言いなりになってしまいました。

信仰はこれを貫かなければ、結局はないも同然です。主はヨシャパテをアハブとは同じようにさ

ばかず助けてくださいましたが、彼は大きな痛手を被ったのです。後悔のないよう、主に最後まで従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 29日 水曜

### 列王 I



22:13 ミカヤを呼びに行った使者はミカヤに告げた。「いいですか。預言者たちは口をそろえて、王に対して良いことを述べています。どうか、あなたも彼らと同じように語り、良いことを述べてください。」

22:14 ミカヤは答えた。「【主】は生きておられる。【主】が私に告げられることを、そのまま述べよう。」

22:15 彼が王のもとに着くと、王は彼に言った。「ミカヤ、われわれはラモテ・ギルアデに戦いに行くべきか。それとも、やめるべきか。」彼は王に答えた。「あなたは攻め上って勝利を得なさい。【主】は王の手にこれを渡されます。」

22:16 王は彼に言った。「私が何度おまえに誓わせたら、おまえは【主】の名によって真実だけを私に告げるようになるのか。」

22:17 彼は答えた。「私は全イスラエルが山々に散らされているのを見た。まるで、羊飼いのいない羊の群れのように。そのとき

【主】はこう言われた。『彼らには主人がいない。彼らをそれぞれ自分の家に無事に帰らせよ。』」

22:18 イスラエルの王はヨシャファテに言った。「あなたに言ったではありませんか。彼は私について良いことは預言せず、悪いことばかりを預言すると。」

22:19 ミカヤは言った。「それゆえ、【主】のことは聞きなさい。私は【主】が御座に着き、天の万軍がその右左に立っているのを見ました。

22:20 そして、【主】は言われました。『アハブを感わして攻め上らせ、ラモテ・ギルア

デで倒れさせるのはだれか。』すると、ある者はああしよう、別の者はこうしようと言いました。

22:21 ひとりの霊が進み出て、【主】の前に立ち、『この私が彼を感わします』と言うと、【主】は彼に『どのようにやるのか』とお尋ねになりました。

22:22 彼は答えました。『私が出て行って、彼のすべての預言者の口で偽りを言う霊となります。』主は『きっとあなたは感わすことができる。出て行って、そのとおりにせよ』と言われました。

22:23 今ご覧のとおり、【主】はここにいるあなたのすべての預言者の口に、偽りを言う霊を授けられました。【主】はあなたに下るわざわいを告げられたのです。」

22:24 ケナアナの子ゼデキヤが近寄って来て、ミカヤの頬を殴りつけて言った。「どのようにして、【主】の霊が私を離れ、おまえに語ったというのか。」

22:25 ミカヤは答えた。「あなたが奥の間に入って身を隠すその日に、あなたは思い知ることになる。」

22:26 イスラエルの王は言った。「ミカヤを捕らえよ。町の長アモンと王の子ヨアシュのもとに連れて行き、

22:27 王がこう命じたと言え。『この男を獄屋に入れ、私が無事に帰るまで、わずかなパンと、わずかな水だけ与えておけ。』」

22:28 ミカヤは言った。「もしも、あなたが無事に戻って来ることがあるなら、【主】は私によって語られなかったということです。」そして、「すべての民よ、聞きなさい」と言った。

ミカヤは勇気を持って主のことは語ります。その内容は説得力がありましたが、自分の考えに固まっていた偽預言者もアハブ王も怒りました。

「思い知るであろう」ということばには、最後に主のみこころが成ると実感を感じます。今は不利に感じて、みこころに従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 30日 木曜

### 列王 I

22:29 イスラエルの王とユダの王ヨシャファテは、ラモテ・ギルアデに攻め上った。  
22:30 イスラエルの王はヨシャファテに言った。「私は変装して戦いに行きます。しかし、あなたは自分の王服を着ていてください。」イスラエルの王は変装して戦いに行った。  
22:31 アラムの王は、自分の配下の戦車隊長たち三十二人に次のように命じた。「兵とも将軍とも戦うな。ただイスラエルの王だけを狙って戦え。」  
22:32 戦車隊長たちはヨシャファテを見つけたとき、「きつと、あれがイスラエルの王に違いない」と思ったので、彼の方に向きを変え、戦おうとした。ヨシャファテは助けを叫び求めた。  
22:33 戦車隊長たちは、彼がイスラエルの王ではないことを知り、彼を追うことをやめて引き返した。  
22:34 そのとき、ある一人の兵士が何気なく弓を引くと、イスラエルの王の胸当てと草摺の間を射抜いた。王は自分の戦車の御者に言った。「手綱を返して、私を陣営から出させてくれ。傷を負ってしまったから。」  
22:35 その日、戦いは激しくなった。王はアラムに向かって、戦車の中で立っていたが、夕方になって死んだ。傷から出た血が戦車のくぼみに流れた。  
22:36 日没のころ、陣営の中に「それぞれ自分の町、自分の国へ帰れ」という叫び声が伝わった。  
22:37 王は死んでサマリアに運ばれた。人々はサマリアで王を葬った。  
22:38 それから戦車をサマリアの池で洗った。



犬が彼の血をなめ、遊女たちがそこで身を洗った。【主】が語られたことばのとおりであった。

22:39 アハブについてのその他の事柄、彼が行ったすべてのこと、彼が建てた象牙の家、彼が建てたすべての町、それは『イスラエルの王の歴代誌』に確かに記されている。

22:40 アハブは先祖とともに眠りにつき、その子アハズヤが代わって王となった。

縁戚関係などもあって不信仰の王アハブの戦いに参戦したヨシャファテでしたが、危険を負うこととなります。アハブはヨシャパテに目立つ王服を着させて、自分は目立たない「変装」で戦場に出たのです。ヨシャパテはすぐに危機に陥ります。しかし変装も効果はなく、アハブは「何げなく」放たれた矢が装備の間をたまたま抜いて、傷を負ってサマリヤの地で屈辱的な死を遂げたのでした。

アハブ王は主に逆らい、異教に仕え、正しい預言者たちを殺したほどの悪王でした。彼はイスラエルでは最高権力者でしたが、それでも主の前には弱い小さな存在でしかなかったのです。主に従う意外に権力者であっても生きるすべはありません。

また彼についての預言はすべて成就しました。もしも彼が減びを免れるとしたら、それは悔い改めて主に立ち返るしかなかったのですが、それをしなかったのです。

自分は力がついてきた。思い通りにできるようになった。神にばかり従ってはいは思い通りのことができない。などと感じるようになったら、それは危険信号です。神様なしでは生きられないのだと心に刻みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 31日 金曜

### 列王 I

22:41 アサの子ヨシャファテがユダの王となったのは、イスラエルの王アハブの第四年であった。

22:42 ヨシャファテは三十五歳で王となり、エルサレムで二十五年間、王であった。その母の名はアズバといい、シルヒの娘であった。

22:43 彼はその父アサのすべての道に歩み、そこから外れることなく、【主】の目になうことを行った。しかし、高き所は取り除かなかった。民はなおも、その高き所でいけにえを献げたり、犠牲を供えたりしていた。

22:44 ヨシャファテはイスラエルの王と友好関係を保っていた。

22:45 ヨシャファテについてのその他の事柄、彼が立てた功績とその戦績、それは『ユダの王の歴代誌』に確かに記されている。

22:46 彼は、父アサの時代にまだ残っていた神殿男娼をこの国から除き去った。

22:47 そのころ、エドムには王がなく、守護が王であった。

22:48 ヨシャファテはタルシシュの船団をつくり、金を得るためにオフィルに行こうとしたが、行けなかった。船団がエツヨン・ゲベルで難破したからである。

22:49 そのとき、アハブの子アハズヤはヨシャファテに、「私の家来をあなたの家来と一緒に船で行かせましょう」と言ったが、ヨシャファテは同意しなかった。

22:50 ヨシャファテは先祖とともに眠りにつき、先祖とともに父ダビデの町に葬られた。その子ヨラムが代わって王となった。

22:51 アハブの子アハズヤは、ユダの王ヨシャファテの第十七年にサマリアでイスラエ



ルの王となり、二年間イスラエルの王であった。

22:52 彼は【主】の目に悪であることを行い、彼の父の道と彼の母の道、それに、イスラエルに罪を犯させた、ネバテの子ヤロブアムの道に歩んだ。

22:53 彼はバアルに仕え、それを拝み、彼の父が行ったのと全く同じように行って、イスラエルの神、【主】の怒りを引き起こした。

南王国すなわちユダでは、ヨシャファテの死後ヨラムが王となりました。また北王国すなわちイスラエルでは、アハブの死後アハズヤが王となりました。

ヨラムは父アサが信仰的であったにもかかわらず、バアルに使えて恥の中で死んでいきましたが、それは悪王アハブの娘と結婚したことで影響されてしまったのです。またアハズヤもまた父である悪王アハブの影響を受けたであろうことは容易に想像されます。

家族、夫婦の関係は主に祝福された人生の大きな幸いです。それだけに主への反逆を受け継がないように、決断と知恵そして勇気とあわれみを求めることが必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 1日 土曜

### ペテロ I

1:1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポントス、ガラテヤ、カパドキア、アジア、ビティニアに散って寄留している選ばれた人たち、すなわち、

1:2 父なる神の予知のままに、御霊による聖別によって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人たちへ。恵みと平安が、あなたがたにますます豊かに与えられますように。

1:3 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせ、生ける望みを持たせてくださいました。

1:4 また、朽ちることも、汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これらは、あなたがたのために天に蓄えられています。

1:5 あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりの時に現されるように用意されている救いをいただくのです。

1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいますが、今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、

1:7 試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。

1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことにはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。



1:9 あなたがたが、信仰の結果であるたましいの救いを得ているからです。

ペテロは困難にあるクリスチャンたちに励ましの手紙を書きました。その励ましは、人間的な視点に立つのではなく、神様の永遠の視点に立ったもの、すなわち選びと、イエス様の救い、そして天に蓄えられた資産です。

私たちも、まず自分自身がそのようなすばらしい視点に立って、救われていることの幸いと神様の助けを覚えて、喜びましょう。また誰か困難にある人には、自分が励まされたと同じように、天からの希望によって、励ましましょう。そうすれば、栄に満ちた喜びに踊ることができます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 2日 日曜

### ペテロ I

1:10 この救いについては、あなたがたに対する恵みを預言した預言者たちも、熱心に尋ね求め、細かく調べました。

1:11 彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もって証したときに、だれを、そしてどの時を指して言われたのかを調べたのです。

1:12 彼らは、自分たちのためではなく、あなたがたのために奉仕しているのだという啓示を受けました。そして彼らが調べたことが今や、天から遣わされた聖霊により福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。御使いたちもそれをはっきり見たいと願っています。

1:13 ですから、あなたがたは心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストが現れるときに与えられる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。

1:14 従順な子どもとなり、以前、無知であったときの欲望に従わず、

1:15 むしろ、あなたがたを召された聖なる方に倣い、あなたがた自身、生活のすべてにおいて聖なる者となりなさい。

1:16 「あなたがたは聖なる者でなければならない。わたしが聖だからである」と書いてあるからです。

1:17 また、人をそれぞれのわざにしたがって公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら、この世に寄留している時を、恐れつつ過ごしなさい。

1:18 ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはならず、



1:19 傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです。

1:20 キリストは、世界の基が据えられる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために現れてくださいました。

1:21 あなたがたは、キリストを死者の中からよみがえらせて栄光を与えられた神を、キリストによって信じる者です。ですから、あなたがたの信仰と希望は神にかかっています。

かつてイスラエルの預言者たちは救い主について預言しましたが、その預言がキリストすなわちイエス様によって成就したのだと、ペテロは明言します。それを見たいと願うことは自然なことですが、その鍵は生き方にあります。

13節からあるように生きて、私たちもイエス様を目の当たりにしたいものです。「聖」というのは人間の力ではできないものです。私たちは聖霊によって変えられ、神様のものであることによって、聖とされるのです。そして当然言動においても、何よりも動機において聖となってゆくのです。それは地上で完成されるものではありませんが、父を慕う子として未熟であるが、完全なのです。

私たちは神のものとなって、子として神様を慕い、聖なるものとなっていけることを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

